



広大な敷地に描き出された (8213.75㎡)

た。
来賓あいさつでは、JXTGエネルギー・関東第1支店の田中亮一副支店長が「さらなる街の発展とともに、この複合施設がENEOSブランドの象徴となるよう期待する」。そのために「関東第1支店は、総力を挙げてバックアップしていく」と力強く約束し、祝福の気持ちを表現した。
グランドオープン記念イベントは3月9〜10日に実施した。
みらい平店の概略。8台同時給油。キ



テープカット。関正樹社長（中央、右隣がJXTGエネルギー・関東第1支店の田中亮一副支店長



実車を用いて実施された「整備士フォローアップ研修 応用コース」

備に携わっているSS従業員を中心に、実車を用いた研修を少人数制で実施。講師から細かな指導・アドバイスを受けながらハイブリッドカー車検整備に必要な知識・技術ポイントについて学習した。
受講者からは「いままでは知識が乏しく何となく避けていたハイブリッドカーの車検整備に関し、繰り返し実習を行った事で理解が深まり、今後自信を持って点検・整備のおすすめができる」などの声が多く寄せられた。
なお、同社は「来年度は整備士のフォロー

アップ研修に留まらず、様々な整備関連の研修を体系化した新たなプログラムを実施する予定」としている。

「みらい平複合施設」の竣工開所式
成功モデルの構築と
新たな潮流を生み出す店づくりを励む

関彰商事は3月5日、茨城県つくばみらい市紫峰ヶ丘（県道355号線沿い）の同一敷地内に新規出店した、「みらい平複合施設」の竣工開所式を挙行政した。
複合施設（3店舗が入る）は、広大な敷地に描き出され（8213.75㎡）、同社グループ初の試みとなるもの。

「ENEOS-SS」（セキショウカーライフ（株）みらい平店）、「HONDAカーディーラー」（Honda Cars茨城西つくばみらい平店/セキショウホンダ（株）、「携帯ショップ」（ソフトバンク・ワイモバイルみらい平店/（株）セキショウモバイル）により構成され、SS拠点を言えば、みらい平店は、同社直営60カ所目（28カ所目のセルフ店）である。

当日は、多数の関係者が招かれ、オープニングセレモニー（神事、テープカット、施設見学）が行われた。



3店舗が入る複合施設

つくばみらい市は、都心からの交通アクセスが飛躍的によくなったことを背景に、いまだ発展する余地がきわめて大きい。
関正樹社長は冒頭のあいさつに立ち、「高度成長時代を抜きにすると」街の発展とともに、当社グループが店づくりをするのはおそらく初めてのこと」「同様の組み合わせによる複合施設の成功モデルの先鞭を付け、各地で広がってほしい」と期待する思いは強い。新たな潮流を生み出す店づくりに励んでいきたい」と述べた。

パーカーテイニング専用ブース。屋根付きの（セルフ洗車）拭き上げスペースを確保。営業時間7時30分〜21時（年中無休）。

優勝は田村裕伴選手（両毛丸善）
コスモのMYカーリース
「接客ロールプレイングコンテスト」

コスモ石油マーケティングは2月13日、都内で「コスモのMYカーリース・接客ロールプレイングコンテスト」を開催した。
昨年に続いて2回目となる全国大会。今回は、地方予選を勝ち抜いた総勢15名の精鋭が、磨き抜かれた技を披露した。
開会にあたり、森山幸二代表取締役社長が「個人向けリースは、まだまだ伸びる、成長する商品。みなさんの力で普及させて、カーリースといえばコスモ」となるよう、さらにブランド価値を向上させていきたい」と挨拶を述べた。

その後、競技に移り、厳正な審査の結果、優勝は両毛丸善・セルフ城南の田村裕伴（ファイールドマネージャー）が選ばれた。決勝に進出した4名と結果は以下の通り。
◆優勝/田村裕伴（両毛丸善・セルフ城南）
◆2位/伊藤大樹（湊商事・セルフステーション岩切）
◆3位/村元鉄（北日